

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 ヘルパンギーナ

定点当たり2.10人と、多い状況です。咽頭結膜熱や手足口病とともに、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。発熱とともに、喉に痛みと水疱が現れます。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染で、回復後も2～4週間程度、便中にウイルスが排泄されます。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

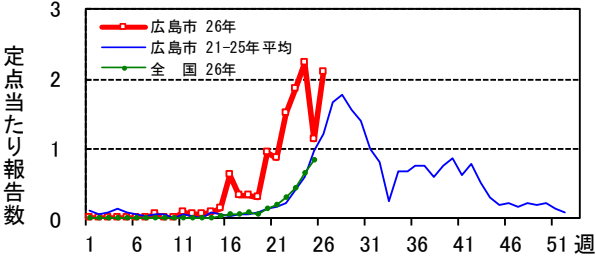
2 手足口病

定点当たり4.29人の報告がありました。多い状況が続いており、注意が必要です。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

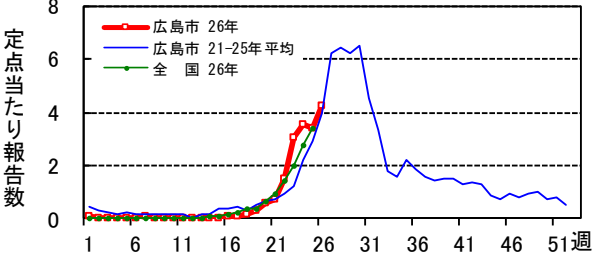
3 水痘

定点当たり0.86人の報告があり、前週と比べて増加しました。かゆみを伴う発しんが全身に出現するウイルス性の感染症で、感染経路は飛沫感染、接触感染です。(次ページ参照)

ヘルパンギーナの流行状況



手足口病の流行状況



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1779	52.32		→	小児科	突発性発しん	4	0.19	0.31	
	インフルエンザ	-	-	0.26			ヘルパンギーナ	44	2.10	1.21	↗
	新型コロナウイルス(COVID-19)	11	0.32				流行性耳下腺炎	-	-	0.14	
小児科	RSウイルス感染症	6	0.29	1.41		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	14	0.67	0.62	↗		流行性角結膜炎	2	0.25	0.73	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.52	1.77	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	103	4.90	4.89	↗		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	水痘	18	0.86	0.09	↑		マイコプラズマ肺炎	2	0.33	0.35	
	手足口病	90	4.29	3.97	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.05	0.88			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減

微増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	34
小児科 定点数	21
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	67	20歳代・推定感染地域: 国外、50歳代・推定感染地域: 国外、70歳代・市外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	30	20歳代・〇1
4	レジオネラ症	1	11	80歳代
5	梅毒	1	54	30歳代
5	百日咳	1	27	20歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第22週	1,651	-	11	3	6	52	107	9	31	3	9	32	-	-	9	-	-	2	-	-
		第23週	1,902	-	16	11	4	51	84	12	64	1	6	39	1	-	5	-	1	-	1	-
		第24週	1,763	-	9	13	10	35	100	7	74	3	7	47	3	-	2	-	-	1	-	-
		第25週	1,859	-	11	13	17	42	93	4	72	-	7	24	-	-	-	-	1	-	-	-
		第26週	1,779	-	11	6	14	53	103	18	90	1	4	44	-	-	2	-	2	-	-	-
定点当たり	広島市	第22週	48.56	-	0.32	0.14	0.29	2.48	5.10	0.43	1.48	0.14	0.43	1.52	-	-	1.13	-	-	0.33	-	-
		第23週	55.94	-	0.47	0.52	0.19	2.43	4.00	0.57	3.05	0.05	0.29	1.86	0.05	-	0.63	-	0.17	-	0.17	-
		第24週	51.85	-	0.26	0.62	0.48	1.67	4.76	0.33	3.52	0.14	0.33	2.24	0.14	-	0.25	-	-	0.17	-	-
		第25週	54.68	-	0.32	0.62	0.81	2.00	4.43	0.19	3.43	-	0.33	1.14	-	-	-	-	-	0.17	-	-
		第26週	52.32	-	0.32	0.29	0.67	2.52	4.90	0.86	4.29	0.05	0.19	2.10	-	-	0.25	-	-	0.33	-	-
全国		第24週	46.89	0.07	0.57	0.35	0.60	2.59	4.95	0.43	2.76	0.06	0.35	0.66	0.04	0.01	0.47	0.01	0.04	0.21	0.01	0.03
		第25週	48.68	0.07	0.85	0.40	0.60	2.48	4.82	0.35	3.40	0.06	0.36	0.85	0.05	0.01	0.44	0.02	0.04	0.23	0.01	0.02

■ 新たに判明した病原体検出状況 感染症発生動向調査に基づく病原体定点医療機関からの搬入分(ARI分を除く)のみ掲載

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(39.1℃) 口内炎 鼻水	1	2026/04/23	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA2型

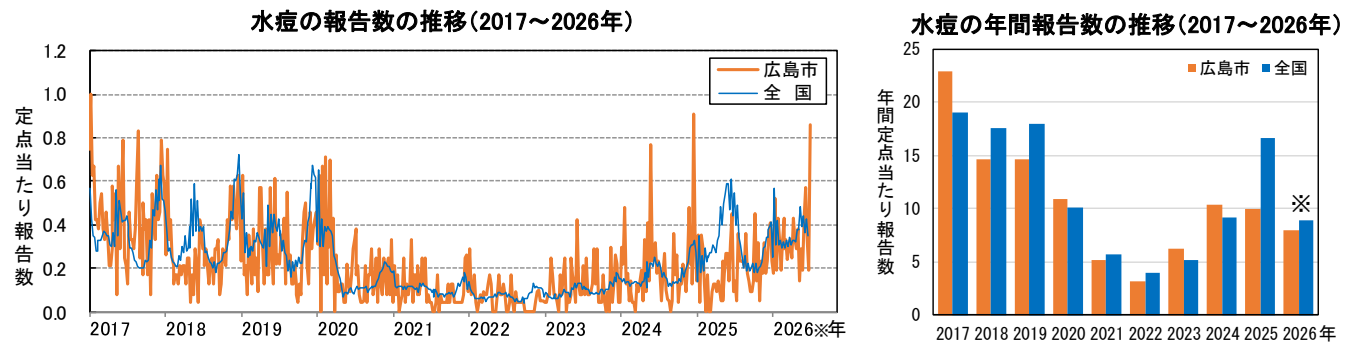
(検査: 広島市衛生研究所)

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス) 感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H3	インフルエンザウイルス B型 (ヒクトリア系統)	インフルエンザウイルス B型 (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモ ウイルス	パライフルエンザ ウイルス1型	パライフルエンザ ウイルス2型	パライフルエンザ ウイルス3型	パライフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第21週	14	13				1	1	1	1	1		1		6		3
第22週	16	10							3			1		2	4	2
第23週	15	12				2		1	2					6		5
第24週	13	8							2	1		1		2	1	2
第25週	14	8							3	1		1		3	4	1

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む (検査: 広島市衛生研究所) 詳しくはホームページで 広島市 病原体 🔍 検索

【参考】水痘(水ぼうそう)の発生動向 ※2026年…広島市: 第26週現在 全国: 第25週現在



直近10年間の水痘の報告数は、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた2020年以降は例年を下回り、2021年から2023年は低い水準で推移していました。2024年以降は以前の水準に近づいています。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp